

学部間協定留学 留学報告書

記入日： 2025 年 1 月 17 日

基本情報	
所属学部・学科	経営学部 経営学科
性別	☐ 男性 ☒ 女性
留学先国	フィンランド
留学期間	2024 年 9 月～2024 年 12 月
留学時の学年	3 年生（渡航した時の学年）
帰国年月日	2024 年 12 月 20 日
明治大学卒業予定時期	2025 年 3 月（学部の早期卒業を希望）
留学先大学について	
大学名（英文・和文）	英文：University of Eastern Finland (UEF) 和文：東フィンランド大学
所属学部またはコース名	ビジネス学部
キャンパスの所在地	クオピオ（ヨエンスーにもある）
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他
学年暦（Academic Year）	春学期：1 月～6 月（期末試験期間：6 月上旬） 秋学期：9 月～12 月（期末試験期間：11 月下旬～12 月上旬）
所属学部の学生数	不明
留学生の割合	不明 多くの留学生がいる。

留学にかかった費用			
項目	現地通貨（）	円	備考
授業料		円	☒ 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	1,435.05€ + 250€	278,033 円	一ヶ月：287.01€ 留学生が多く、早めに確保することが好ましい。部屋確保のため渡航が 9 月からの入居でも 8 月分の家賃を支払う必要がある。頭金 250€を契約時に支払い、帰国後に返金。
食費		約 200,000 円	一ヶ月：40,000-50,000 円 学食は 1 食 1.78€で食べられる。日本から持参したものも利用した。
通学費	120€	19,800 円	一ヶ月：40€程 バス通学。1 か月の定期のようなものを購入。ネットから買うと少し安い。
学校用品	39€	6,500 円	SKETTA というスポーツクラブのような団体への入会費（強制ではない）。ジムが使える、料理教室などのイベントに参加できる。教科書等は購入せず。コピーも限られた枚数なら校内でできる。

教養・娯楽費	約 121€	約 20,000 円	新学期開始時は多くのイベントが開催されており、その参加費とイベントでのドリンク費用。学期中も様々な団体でパーティーやイベントが企画されていたが、ほとんど参加せず。チケット代は5～10€ほどかかるものがほとんど。
被服費	0	0 円	スノーブーツは日本で購入。その他の防寒具は日本で使用していたものを持参。
医療費		円	
保険費		43,710 円	保険会社：東京海上日動（明大サポートを利用）
渡航費		306,462 円	帰りの飛行機は留学中（10 月）に購入しました。
旅行費		約 600,000 円	留学中に旅した国：スイス、エストニア、フィンランド（ヘルシンキ、タンペレ、ロバニエミ）、ドイツ、韓国
語学学校		円	授業料： 宿泊費：
奨学金/助成金		320,000 円	奨学金：320,000 円（80,000×4 カ月） 助成金：100,000 円 申請中
その他		100,000 円	在留許可申請 350€などを含む
合計		1,574,505 円	1€＝165 円で計算

渡航について

1) 航空券を購入した時期

☒ 留学先へ出願後 ☐ 入学許可書受領後 ☐ ビザ取得後 ☐ 出発直前 ☒ その他（留学先到着後）

2) どのように購入しましたか？

スカイスカナーで購入。帰路に関しては、旅行を考えていたので旅程が立ってから購入。

3) 渡航経路を教えてください。

（往路） 成田空港 — イスタンブール空港、ジュネーブ国際空港、ヘルシンキ・ヴァンター国際空港（経由）— クオピオ空港

（復路） ヘルシンキ・ヴァンター国際空港— インチョン空港（経由）— 成田空港

4) 航空券代金

利用航空会社：Turkish Airline、Finnair、Air Japan
 往路： 145,160 円+36,706 円=181,866 円
 復路： 105,242 円+19,354 円=124,596 円
 合計： 306,462 円

5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。

4 カ月という短い留学期間に行きたい国に旅行することは不可能だと考え、渡航途中で旅行をする計画しました。荷物が多くて移動は大変だったのですが、夏やクリスマスなどのシーズンを踏まえたいいタイミングだったと思います。

旅程が立ったらすぐに飛行機をとることとお勧めします。ブラックフライデーの時期が近ければ、たりにセールをする可能性が高い

です。ヘルシンキからクオピオまでは電車で5時間ほどで最安値。私は不安だったので、往路はクオピオまで飛行機まで行き、復路は電車を利用しました。

留学中の滞在先について

1) 種類（留学中の滞在先）

☐ 寮 ☒ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋（同居人数：3 人 ）

3) 住居の探し方	
☒ 留学先機関が斡旋 ☐ 自分で探す Kuopas という不動産会社を学校が紹介してくれるので、家探しや契約、支払いなどは自分で行う。	
4) 大学までの利用交通機関と通学時間（片道）	
利用交通機関	☒ バス ☐ 電車 ☐ 自転車 ☐ 徒歩 ☐ その他（ ）
通学時間（片道）	15 分 アパートの前が終点のバス停があり、とても便利。
5) 滞在中の食事について	
【平日】 朝： ☐ 寮 ☒ 自炊 ☐ 外食 ☐ その他（ ） 昼： ☐ 寮 ☒ 自炊 ☐ 外食 ☒ その他（学食） 晩： ☐ 寮 ☒ 自炊 ☐ 外食 ☐ その他（ ）	【休日】 朝： ☐ 寮 ☒ 自炊 ☐ 外食 ☐ その他（ ） 昼： ☐ 寮 ☒ 自炊 ☐ 外食 ☒ その他（学食） 晩： ☐ 寮 ☒ 自炊 ☐ 外食 ☐ その他（ ）
6) 滞在先に関する総合的な感想（これから留学する人のためのアドバイス）	
アパートに留学生がたくさん住んでいるので、困ったことがあれば助け合えたりすぐそこに知り合いがいたりする環境です。私は一番安い部屋を借りていたのですが、良くも悪くも存在感を感じられます(笑)水回りも部屋の温度も清潔さなど、生活をするうえで特に不満はありませんでした。宗教勧誘がよく来るので、防犯面の心配はありました。異文化交流は学校ではなく、家という場で感じるが多かったです。排水溝が詰まった、ヒーターがつかないなどの故障に関しては、会社に伝えるとすぐに修理してくれます。また、わからないことがあってもメールを送れば基本的に返してくれるので安心ではありました。留学が決まったら早めに手続きの準備をすることをお勧めします。留学生が多いため、すぐに埋まってしまうそうです。 学校の前の Prisma というスーパーマーケットが一番安いし、生活用品から食材まで何でもそろいます。日本の調味料もありました。パスタが安いので、よく食べていました。	
現地に関する情報	
1) 留学中は病院にかかりましたか？	
☐ はい（利用機関名： ） ☒ いいえ	
2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？	
☐ はい ☐ いいえ ☒ わからない	
3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？	
3 人に 1 人くらい、学生サポーターがついてくれるため、その人に相談すればいいと思われる。また、学生相談の場もオリエンテーションの際に説明がある。	
4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？	
☒ はい ☐ いいえ ☐ わからない	
5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？	
情報収集	☐ 現地コーディネーター ☐ 友人 ☒ ネット（参考サイト： ） ☐ その他（ ）
防犯対策	冬はすぐに暗くなるので、反射材をリュックに付けていた。夜遅くに一人で歩く時にはライトをつけたり、イヤホンはつけないようにしたりした。治安が悪いなと感じたことはなかったが、常に警戒心を忘れないようにした。貴重品等からは常に目を離さないようにした。
6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？	
☐ はい ☒ いいえ	
8) パソコン、携帯電話、インターネットについて、現地での利用状況はいかがでしたか？	
パソコン	日本から自分の使っているノートパソコンを持参。特に困ることはなかったが、故障したら修理が難しくなりそうだったので、充電器を含め管理には気をつけていた。

インターネット	DNA と呼ばれるネット回線をキオスクで購入。家に Wi-Fi ルーターがあるので、アクティベートをさせれば、自宅では快適なネット環境が備わっていた。いろいろなプランがあるが、生活するうえではデータ使い放題の一番安いプランで十分だった。海外旅行をするときは、e-sim を購入した。
携帯電話	日本から自分のつかっている iPhone を持参。特に困ることはなかった。
9) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。	
現地の銀行口座開設は、1 学期しかいなかったで行わなかった。留学初期は日本にいる母に銀行から国際送金をするという形で家賃の振込をお願いしたり、通帳を手渡してそこに入金をしてもらったりした。WISE という送金アプリを友人から教えてもらい、国際送金をする際に途中から利用した。現地での支払いは基本的にすべてクレジットカードでした。クリスマスマーケットでも、ほとんどのお店でクレジットカードを利用できた。住んでいる町に換金をするのがなかったため、空港や首都であるか、キャッシングサービスを利用して現金を手に入れなければならない。	
10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。	
1 学期しかいない人は調味料、洗剤類（スーパーにもそろっているが、大容量の物が多かった。キューブ型の洗剤などがおすすめ）は持参すると良い。衣料品は、アパート全体で共用の洗濯機を利用するので本当に色が変わる。捨ててもいいような物を持っていくと良いと思う。文房具、セロハンテープ、輪ゴム、ラップ、ジップロックなどの便利グッズは、日本では安い現地ですとそろえるとコスパが悪い。反対に防寒具などは、現地で買う方が出費としては低いと思う。運動できる服と靴、水着などをもっていくと現地での生活らしいことをすること（サウナや運動、湖での水泳）に役立つかもしれない。本当に乾燥するので、肌やのどなど対策をするものが必要。スキンケアやメイク用品については、自分好みのものを持っていくことをお勧めする。生理用品は現地でも販売しているが、日本で買って持って行った。	
進路について	
1) 進路	
☐ 就職 ☒ 進学 ☐ 未定 ☐ その他（ ）	
2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？	
留学中によく考えて決めました。	
6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします（試験対策など）。	
はやくから準備しておくべきだと痛感しました。自分で動くことができないので、よく調べて動きをシュミレーションしておくと思います。Ⅰ期の入学試験が留学によって受けられなかったもので、Ⅱ期の入試出願の手続き（書類の印刷と郵送）を日本にいる親に頼みました。事務室の方に細かいことまで確認をして、連絡を多くとって行いました。	

留学に関するタイムチャート

2023年11月 募集要項公開～選考試験日	出願、面接準備、面接。
2023年12月～ 2024年6月 合格発表後～出願準備期間	留学先大学に出願。 出願に時間がかかるので、やるべきことをリストアップしておく。

2024年6月 出願後～渡航の準備	留学先大学受け入れ確定、家の契約、飛行機などの渡航準備。
2024年8月 留学開始直前	渡航準備、渡航、旅行。 学校が始まる前に生活用品などをそろえ、生活の準備を進める。
2024年9月 留学開始	オリエンテーションやイベントに参加。 交換留学生としての学生登録、履修登録などの手続き。
2024年10月～11月 留学中	ひたすら授業に取り組む。日々の課題をこなす。 期末課題の提出やテストの受講。 大学院の出願の準備。 あいている時間に旅行を楽しむ。
2024年12月 留学中（或いは帰国後）	大学院出願。 成績表の受理。 旅行後、帰国。帰国届の提出。
2025年1月 帰国後	学部事務室に出す報告書の作成。 単位認定の手続き。

留学体験記

あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。	
もともと、ISIBMやGSLに参加していて大学中に長期留学をしたいと思っていました。日本でも勉強などはできますが、海外に行くことで日本を客観視したり、授業内容もよりグローバルな内容になったりしてとても面白いという経験をしてきたからです。また、自分が想像しえないバックグラウンドを持つ人と交流することができるからです。日本でも充実した毎日を過ごしていましたが、現状に甘えず自分をもっと成長させていきたいと考えたことも理由の一つです。	
語学について	
受験した語学能力試験	☐ TOEFL-iBT ☐ TOEIC ☒ IELTS ☐ その他（試験名： ）
ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	日々の生活で英語に触れる環境を作ることは難しかったのですが、GREATの授業を履修したことで英語を話す環境を作ったことは良かったと思います。留学生と話したり、友人が英語を流ちょうに話す様子をみたりすることは、モチベーションの向上にもつながりました。
総合的なアドバイス	よく、英語を話すということは語学能力試験の勉強と全く違うといわれますが、本当にその通りだと思います。自分の言いたいことを、自分の言える方法で伝えるという練習が必要だと痛感しました。まだまだ勉強が足りないなどと思わされる場面がたくさんありました。

この留学先を選んだ理由を教えてください。	
フィンランドは世界一幸福度の高い国、サステナブルに積極的に取り組む国として有名で、実際にそこで暮らして実態を知りたいという思いが生まれました。オーロラや雪、湖、森林など自然豊かな場所で、自分自身に集中する環境としてもふさわしいと思いました。加えて、留学をするならば将来のことなども踏まえて、学部間留学が好ましいとも考えていたので、学部間の交換留学で東フィンランド大学を選びました。	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気を教えてください。	
大学（キャンパス）	とても洗練されたデザインで、学校に行くことが楽しみでした。野菜がたくさん食べられる学食に、健康面でとても助けられました。職員の人も、困ったりわからないことがあったりしても快く対応してくれました。
学生	わからないことがあったら、いつでも助けてくれるような人がたくさんいました。理系の学生が多いキャンパスだったこともあり、白衣を着ている人をよく見かけます。とても勉強熱心な学生が多かった印象です。
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	新学期開始時には多くのイベントが開催されており、交流することも多かったです。しかし、授業が本格的に始まってからは留学生との交流が多くなりました。私の取っていた授業の性質上、チューターと留学生へのサポート団体の人以外と交流することはほとんどなかったです。それでも、イベントの際にはフィンランドの文化を教えてくれることがあり、とても楽しかったです。
留学生との交流	家や授業、イベントや街中での遭遇など、多くの交流が生まれていました。特にルームシェアをしていたことや、そのアパートに多くの留学生が住んでいたことは交流が盛んになる要因だったと思います。一緒にお菓子を作ったり、料理でもてなしてもらったりしました。とても楽しかったです。
留学先大学主催のイベントについて教えてください。	
新学期に多くのイベントを開催してくれました。そのほとんどが、留学生をサポートする団体が主催していてとても時間をかけて準備してくれたり、学部やサークルの活動紹介も兼ねたイベントが行われたりと楽しみながらも学校について知れるものが多かったです。オリエンテーションなどで街中を歩き回ったことは、生活するうえで非常に助かりました。フィンランドの文化を伝えたり、体験したりする文化が多くとても楽しかったです。日本との違いを感じる場面が多かったです。	
課外活動について教えてください。	
授業での課外活動はほとんどありませんでした。フィンランド料理を教えてくれる料理教室に参加したり、週に何度かダンスやヨガなどの教室に参加したりしました。緯度が低く、日本との日照時間のちがいに戸惑います。とても面白かったですが、生活リズムをつかむことに苦労するので、日光を浴びれる時にはしっかり外に出て体を動かすことをお勧めします。	
一日の課題の量を教えてください。	
私は9月後半ー11月にかけて、昼間はずっとパソコンと向き合っていました。英語で授業が行われたり、日本では考えられないような数の参考文献のレポートをずっと読んだりして学びを深めていました。こんなに勉強に集中したのは大学受験以来で、日々新たな知識や考え方を得られてとても面白かったです。	
期末試験について教えてください。	
私の受けた期末試験はすべてオンラインでした。授業によって、時間が指定されていたり自由に受けられたりするものがあります。オンラインだったので、あらかじめ勉強し、大切なところをまとめたメモ書きとともに受験しました。期末課題としてレポートを提出したものもありました。	
留学先で直面した困難（壁）について教えてください。	
言語以外に物理的に困ったことはありませんでした。精神面では、出発時に未知の世界に飛び込むことが怖くなってしまったり、他の人がすごく頑張っているように見えてきたりするということが自分の知らない感情だったので戸惑いました。自分の足りない部分を思い知らされることが多かったです。し	

かし、それも新たな発見、コンフォートゾーンを抜け出したからこそ得られた経験だ、と考えて音楽を聴いたり散歩をしたりして気分転換をして過ごすようにしていました。

これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。

目的をもって留学をすることをお勧めします。周りに知り合いが誰もいない地に飛び込むと、自分と向き合わざるをえなくなってきました。また、頑張っている人遊んでいる人間問わず、嫌でも他の人の言動が視野に入ってきます。そんな時に今自分がすべきこと、したいことなどの指針があると自分軸をもって成長できる日々を送ることができると思います。楽しいこともちょっぴりつらいこともいずれ思い出になると考えて、一歩踏み出したということに誇りをもって幸せに過ごしてほしいと思います。大変なことも多いですが、私は留学に行って本当に良かったと思っています。

留学先で履修した授業科目

記入日： 2025 年 1 月 17 日

学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）	
1) 留学先で取得した単位数	本学で認定された単位数
36 ECTS	☐ 単位 ☒ 現在単位認定中（認定予定の単位数：26） ☐ 単位認定はしません （理由： ）
2) 留学先で履修した科目について	
履修した授業科目名①	
Sales and Buyer Behavior in Retailing	
科目設置学部	Business Economics
履修期間	9-12 月
留学先の単位数	6ECTs
帰国後の単位認定	☐ 4 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☒ その他（ 自主学習 ）
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	Katariina Ylönen
授業内容	販売における管理、営業やマーケティングの関係とその役割について、販売戦略や営業戦略の計画プロセスと実施について、多くの事例を用いながら理解を深めていきます。主に教科書（オンライン）を使用しますが、論文や Web サイトなども参考に勉強を進めます。
試験・課題など	モジュールごとのオンラインでの小テスト、エッセイ、オンライン試験
感想を自由記入	ビジネスに関する基礎的なことを教科書で学び、その後論文を読むことでさらに高度な知識や考え方を身に付けていきました。論文は興味深い点に着目していることが多く、とても興味深かったです。一つ一つの章で小テスト（成績には影響がない）があるので、何度も受講してそれらの定着を強化させました。
履修した授業科目名②	
Sustainable co-operative business model	
科目設置学部	Business Economics
履修期間	9-12 月
留学先の単位数	6ECTs
帰国後の単位認定	☐ 4 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☒ その他（ 自主学習 ）
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	Antti Talonen
授業内容	協同組合について、その歴史から特徴、ビジネスプランやそれにかかわる人々や組織の業務や価値観、幅広い地域の特殊なケースを学ぶことができます。授業を録画したビデオ、パワーポイント、論文、Web サイト、Youtube などの教材を使って理解を深めます。一つのトピックが終わったら学んだことなどを Learning diary にまとめます。

試験・課題など	オンラインでの中間テスト、レポート、Learning diary
感想を自由記入	自分が知ってはいたけれど、深くまで知らない協同組合という分野について学びを深められたことが良かったです。協同組合の今までの歩みや、存在意義、課題、これからの取り組みについて世界中の事例の紹介や多くの教授からのレクチャーを受けられたことで、理解することができました。とても興味深く、面白い授業でした。
履修した授業科目名③	
Co-operative idea: creating value and sustainability	
科目設置学部	Business Economics
履修期間	9-12 月
留学先の単位数	6ECTs
帰国後の単位認定	☐ 4 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☒ その他（ 自主学習 ）
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	Juha Kinnunen
授業内容	協同組合について、歴史から価値観、特徴、管理、海外事例などの特殊なケースなど幅広く学ぶ。録画された授業ビデオ、パワーポイントスライド、論文、ニュースや Web サイトなどの教材を用いる。
試験・課題など	オンラインでの中間テスト、中間課題、Learning diary、最終課題
感想を自由記入	協同組合について、聞いたことはあったり少し授業で触れたことはあったりしたものの、本腰をいれて学ぶことはなかったので非常に面白かったです。日本を含む世界中の協同組合の事例を紹介したり、協同組合の運営における価値観や人々の役割などを知れたり、自分自身の学びを広げる機会になりました。この授業は②の授業とほぼ同じような内容で、たまに被ったりしていましたが、マスターレベルということもあり資料が多かったりより深くまで考えさせられるような課題が多かったです。
履修した授業科目名④	
Sustainable Entrepreneurship	
科目設置学部	Business Economics
履修期間	9-12 月
留学先の単位数	6ECTs
帰国後の単位認定	☐ 4 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☒ その他（ 自主学習 ）
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	Ville-Veikko Piispanen
授業内容	持続可能な起業家精神の理解。研究の事例と分析を通じて、それをどのように新しいビジネスモデルとして適用するかを学習する。
試験・課題など	10 個の論文を読み、それに対しての意見文を書く。 論文を読んだことから新たな研究テーマを作り、それに対してのエッセイを書く。
感想を自由記入	今までこれほどの論文を読んだことがなかったので、とても大変でした。持続可能性と新たなビジネスを作る起業家精神という分野は、日本であまり取り上げられない授業だと思い受講しました。幅広い考え方や調査方法などを知ることができたので、今後の学習に生かされそうだと思いました。この授業もマスターレベルの授業だったので、論文が取り扱う内容も 1 段階難しく、時間を要した授業でした。とても面白かったです。

履修した授業科目名⑤	
Strategic Management	
科目設置学部	Business Economics
履修期間	9-12 月
留学先の単位数	6ECTs
帰国後の単位認定	☐ 4 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☒ その他（ 自主学習 ）
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	Subhanjan Sengupta
授業内容	ビジネスにおける戦略、競争の優位性、組織の戦略の策定などなど戦略管理の基本や戦略分析について理解を深めていく。e-learning のサイトに先生が動画や資料を載せてくれているので、それと教科書（オンライン）を併せて自分で勉強を進めていく。
試験・課題など	モジュールごとにオンラインでテストが行われるので、それを回答していく。（3つほど）
感想を自由記入	この授業は様々な戦略や戦略に携わる人の役割、組織の評価方法などビジネスの実践にかかわる知識を得ることができました。事例なども多く用いられていて、とても分かりやすく興味深い内容でした。
履修した授業科目名⑥	
Finnish Education and Society	
科目設置学部	Education
履修期間	9-12 月
留学先の単位数	5ECTs
帰国後の単位認定	☐ 4 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☐ その他（ 自主学習 ）
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	Henna Timonen
授業内容	フィンランドの教育と社会について、伝統的な理論から教育の意義、持続可能な教育などのテーマで学ぶことができます。オンライン上の e-learning のプラットフォームで学習を進めます。そこに読み物がのっていたり、授業動画が載っていたり、読むべき論文が提示されていたりします。
試験・課題など	6つのテーマごとの課題、最終課題（Learning diary）
感想を自由記入	フィンランドを留学先として選んだ理由として、フィンランドの教育システムが世界的に有名であるということがありました。そのため、教育の授業を履修しようと思っていましたが、キャンパスが違い希望していた授業はとれませんでした。オンラインでもいいから知識を深めようと受講したのがこの授業です。論文や様々な先生の授業動画、課題を通じてフィンランドの教育について理解を深めることはもちろん、日本の教育についても改めて考えさせられる機会になりました。東フィンランド大学では交換留学生として登録されている学部を超えた授業を履修することが可能でした。
履修した授業科目名⑦	
Orientation for International Students	
科目設置学部	

履修期間	9 月
留学先の単位数	1ECTs
帰国後の単位認定	☐ 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☐ その他（ 自主学習 ）
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	Kirsi Konttinen
授業内容	オンライン（決められた時間）と対面でのオリエンテーションに参加し、Digistartti in English という e-learning の授業をとります。
試験・課題など	対面のオリエンテーションへの出席、オンラインでの小テスト
感想を自由記入	交換留学生として登録する際に、必要な知識を身に付けることができます。
履修した授業科目名⑦	
科目設置学部	
履修期間	
留学先の単位数	
帰国後の単位認定	☐ 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☐ その他（ ）
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	
履修した授業科目名⑧	
科目設置学部	
履修期間	
留学先の単位数	
帰国後の単位認定	☐ 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☐ その他（ ）
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	
履修した授業科目名⑨	

科目設置学部	
履修期間	
留学先の単位数	
帰国後の単位認定	☐ ☐ 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☐ その他 ()
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	
履修した授業科目名⑩	
科目設置学部	
履修期間	
留学先の単位数	
帰国後の単位認定	☐ ☐ 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐ 単位認定しません
授業形態	☐ 講義形式 ☐ チュートリアル ☐ その他 ()
授業時間数	1 回 分の授業が週 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	